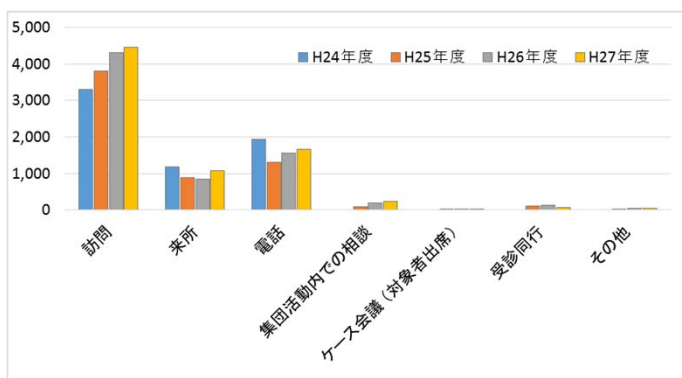


みやぎ心のケアセンターの活動分析

みやぎ心のケアセンター 福地 成

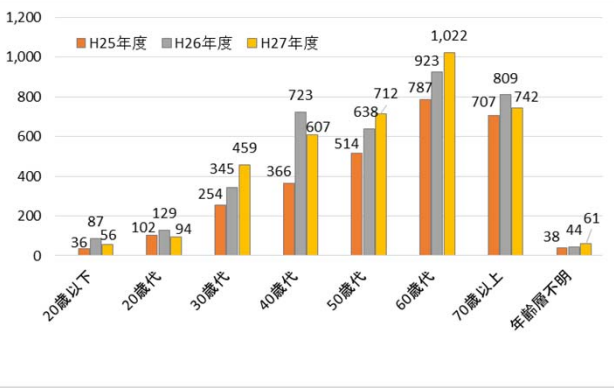
支援方法の推移



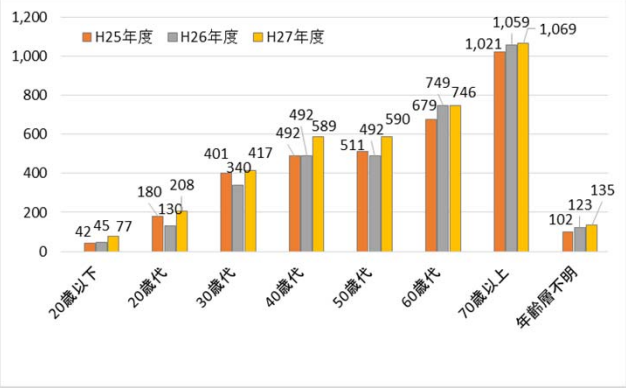
- ◆ 延べ回数としてカウント
- ◆ 総数としては平成24年度には6,000件を超え、以降年毎に増加し、平成27年度には7,589件に達した。
- ◆ 一貫して訪問による支援が多い。
- ◆ サロン活動などの集団内活動での相談は、平成25年度は80件ほどであったものの、180件⇒180件⇒220件と年毎に増加している。

支援対象者の年齢層

＜男性の年齢別支援対象者の推移＞

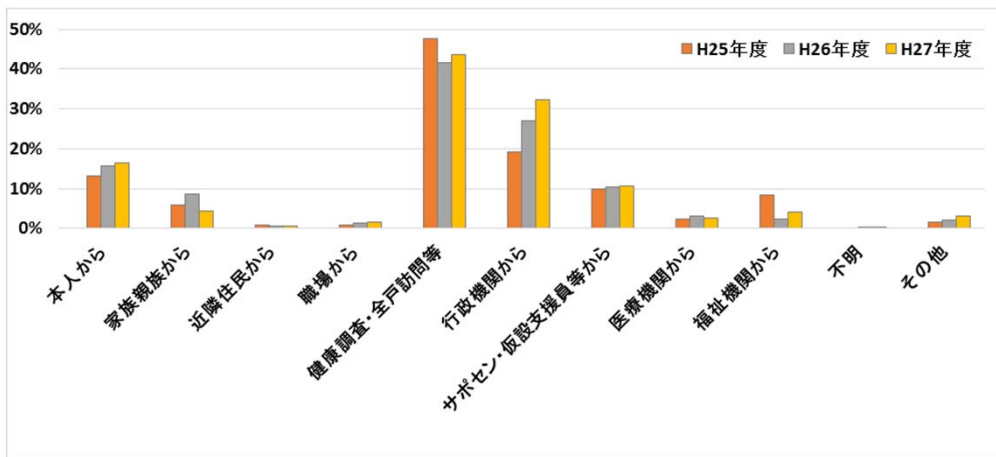


＜女性の年齢別支援対象者の推移＞



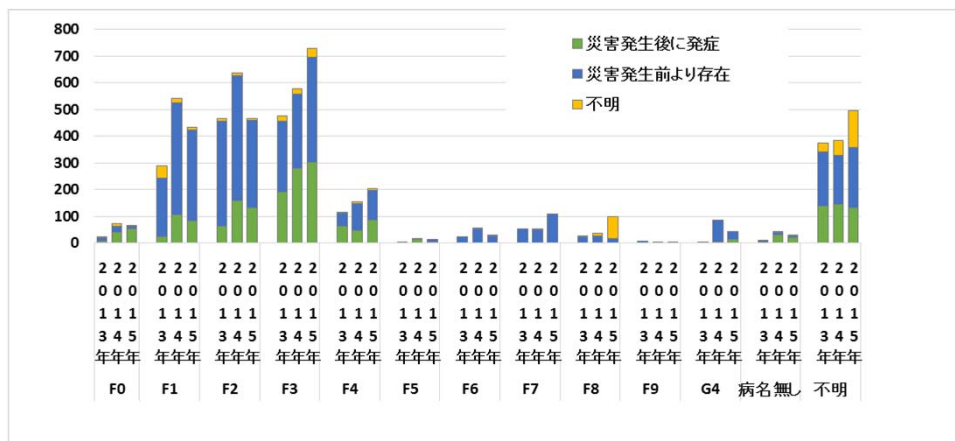
- ◆ 3年間を通してみると女性の方がやや多かったが、有意な差はみられなかった。
- ◆ 無職の対象者が多く、約71～75%を占めた。
- ◆ 全支援対象者に占める60歳以上の割合は約50%前後だった。

相談経路の推移



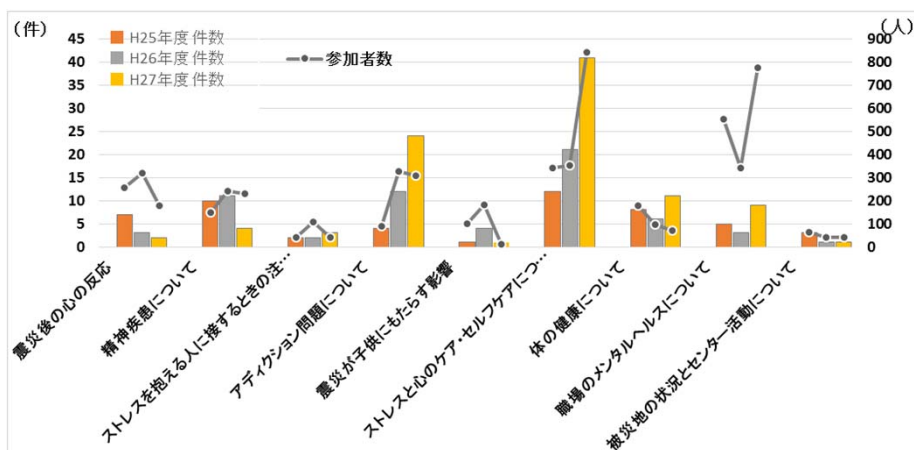
- ◆ 健康調査のハイリスク者のフォローが活動の中心になっている。
- ◆ 市町村の窓口とコミットしているため、行政機関からの紹介が多い。

疾患分類および発症時期ごとの対象者数



- ◆ 精神科受診歴がある対象者は30～40%程度だった。
- ◆ 疾患としてはF1、F2、F3が多くを占めた。
- ◆ F3、F4は時間経過とともに増加している。
- ◆ F7、F8も増加している。

普及啓発の研修内容



- ◆ 普及啓発の実施件数は年々増加している。
- ◆ アディクション関連、支援者自身のセルフケアなどのニーズが高い。
- ◆ 全国健康保険協会と連携して、職場のメンタルヘルスの研修を行っている。

支援の経過

急性期

- 緊急支援を要する人を発見し、適切な支援につなげる
- 地域住民に対する心理教育が中心
- ひたすら人海戦術

中期

- 簡易なスクリーニングによりハイリスクを抽出し、フォローする
- 地域では非専門職への普及・啓発が中心
- 他組織との関係づくり

長期

- 地域全体を対象とした健康づくり
- 人材育成、個々のスキルアップ(事例検討やSV)
- 他組織との協働

